

朝日工業グループレポート
2016



朝日工業株式会社





地球は動いている。

**朝日は、今日も明日を
生み出していく。**

わたしたちが目指すこと。

それは、過去と現在、現在と未来が
有機的につながっていく豊かな資源循環型社会の実現です。

そのために、わたしたちは資源循環の環の真ん中で
資源の探索・活用、再生の技術力を通して
地球の力を、明日の力に変えていくドライバーで
ありたいと考えています。

その活動領域は、鉄鋼、農業といった
社会に新たな未来を拓いていく分野。

地球が動き、世界に新しい明日がやってくるとき。

わたしたちは、いつでも資源の新しい可能性を
生みだしていくリーディングカンパニーでありつづけます。

経営理念

誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。

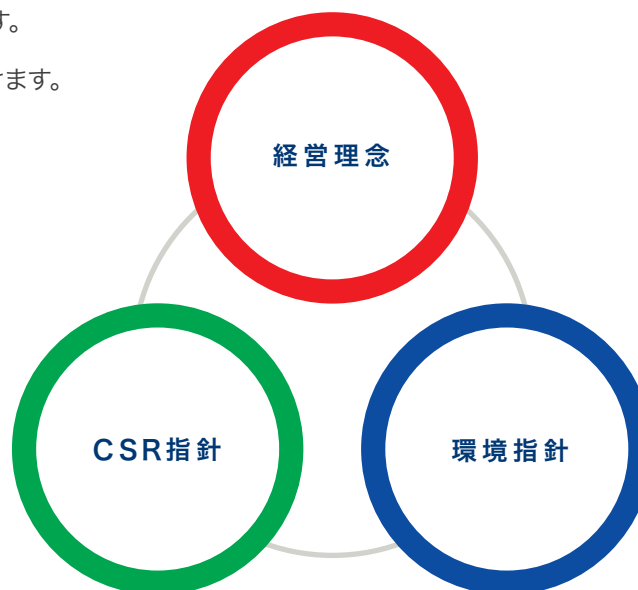
良い製品、良いサービスを提供し、地球環境に貢献し続けます。

CSR 指針

社会への貢献、感謝、恩返しを大切にします。

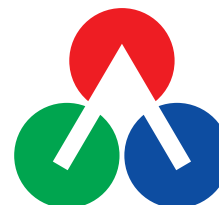
環境指針

環境負荷低減、地球温暖化防止、ゼロエミッション
を通して、環境へ貢献します。



コーポレートマーク

コーポレートマークは、朝日工業の「A」の文字を中心に、「太陽」、「緑」、「地球」をイメージし、経営ビジョンである地球環境への貢献を表したものです。



TOP MESSAGE	4
沿革	6
中期経営計画・2015年度実績	7
中期経営計画(2016-2018年)	8
2015年度実績	11
事業概要	13
鉄鋼建設資材事業	15
碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業(株上武)	19
農業資材事業	21
環境・ガバナンス・社会貢献活動	27
環境	28
ガバナンス	33
社会貢献活動	36
財務データ・会社情報・投資家情報	37
財務データ	38
会社情報	41
投資家情報	42

TOP MESSAGE

朝日工業グループは、「地球環境や地域社会への貢献」を大切にし、「みなさまから愛され続ける会社」でありたいという思いのもと活動し、創業 80 周年を迎えました。

鉄スクラップからビルや橋、高速道路に使用される頑丈な鉄筋を作り、家畜糞、鶏の羽、油粕、食品・飲料工場の排水などから安全で良質な有機質肥料を作り続け、資源循環型社会を目指しています。

当社グループは東日本大震災以降厳しい事業環境に直面したことに加え、2014 年 2 月の雪害によって製鋼工場が約 4 ヶ月に亘る操業停止に陥るなど、2010～2013 年度に亘って、赤字決算を余儀なくされました。

しかしながら、マーケット環境が正常化すると共に、全社員の努力により、急速に業績が回復し、2014 年度には黒字化、更に、2015 年度では、期初の予想を大幅に上回る利益を計上することができ、3 期振りの復配を実施することとなりました。業績低迷の時も当社を信頼して支えてくださった株主様、お客様、お取引企業など、全てのステークホルダーのみなさまに心より感謝申し上げます。

一方、2015 年度は、業績の本格的回復に向けての取り組みと同時に、中期経営計画の策定に力を注ぎました。将来の当社グループのあるべき姿について議論を重ね、「スペシャリティ（明確な強み）」をキーワードに、2016～2018 年度の戦略を「ASAHI 2018 プロジェクト」として 2016 年 5 月 10 日に発表しました。

将来に亘り安定した利益計上と社会への還元を実現するために、着実に ASAHI 2018 プロジェクトを実行し、2020 年以降につなげてまいります。ステークホルダーのみなさまにおかれましては、引き続きご支援をくださいますようお願い申し上げます。



2016 年 7 月
代表取締役社長

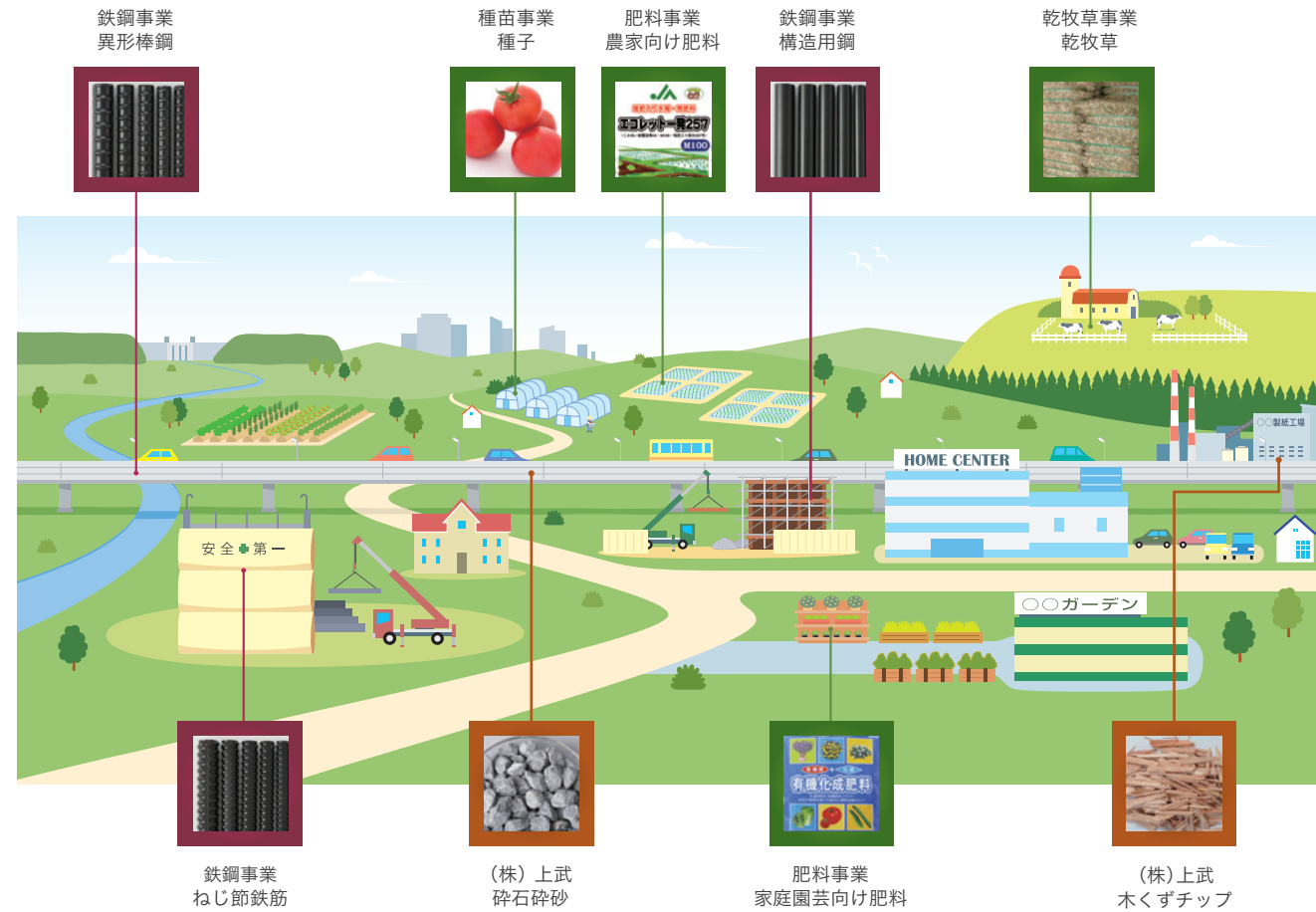
村上政徳

さあ、価値ある資源循環型社会へ

資源循環型社会の実現を目指す朝日工業グループの活動は、
実は、もう、みなさまの生活の中でひとつひとつ息づいています。

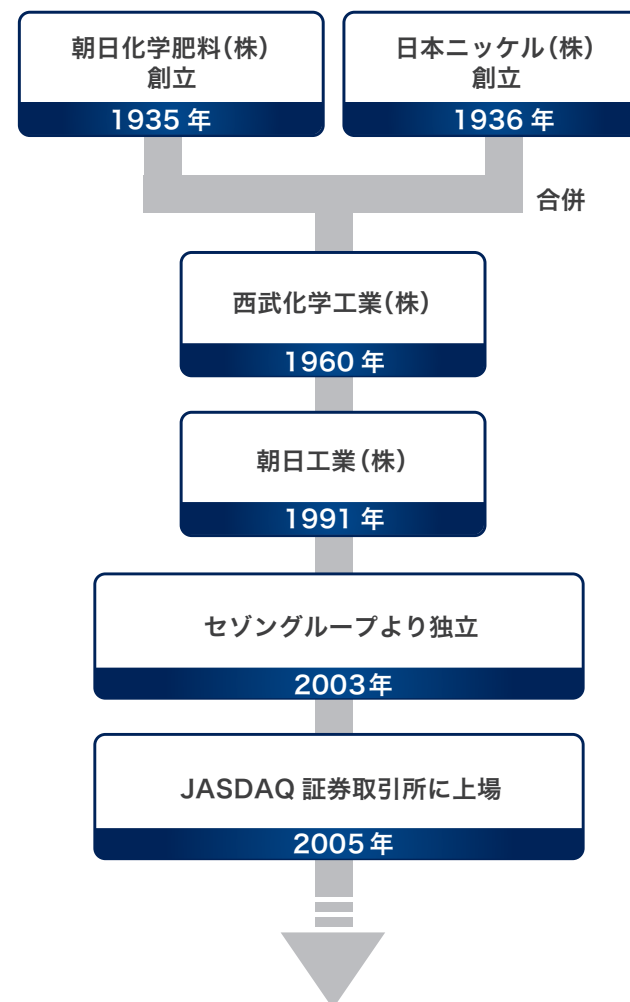
その活動領域は、いま、
「鉄鋼建設資材事業」
「農業資材事業」
「砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業」
に広がっています。

価値ある資源循環を
かたちにしていく活動を、
これからも、あらゆる領域でつぎつぎと。



沿革

- 1935年 朝日化学肥料 株式会社 創立 肥料事業の前身（兵庫県尼崎市）
- 1936年 日本ニッケル 株式会社 創立 鉄鋼事業の前身（埼玉県児玉郡）
- 1960年 朝日化学肥料 株式会社 が日本ニッケル 株式会社 を吸収し
社名を西武化学工業 株式会社 に変更、
鉄鋼と肥料というビジネスモデルが誕生
- 1991年 現在の朝日工業 株式会社 設立
- 1995年 Johnson Asahi Pty.Ltd. を合併で設立
(オーストラリア、ビクトリア州)
- 2003年 セゾングループより独立
- 2005年 JASDAQ 証券取引所に上場（現東京証券取引所 JASDAQ）
- 2011年 萊陽龍大朝日農業科技有限公司を合併で設立（中国、山東省）



MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN FINANCIAL RESULTS FOR FY2015

中期経営計画・2015年度実績

中期経営計画 (2016 - 2018 年度)

朝日工業グループは、2016 年度から始まる 3 カ年の新たな経営指針として、「ASAHI 2018 プロジェクト」を策定しました。鉄鋼建設資材事業については、2020 年に予定されている東京オリンピック関連案件や都市再開発案件などの需要が見込まれます。また、農業資材事業についても、当社が強みとする粒状有機質肥料の需要は安定推移するものと考えております。しかしながら、今後、鉄鋼、農業事業とも、マーケット環境は大きく変化していくものと予想されることから、2019 年度以降も見据えたマーケット環境変化にも耐えられる事業戦略、経営基盤強化戦略、財務戦略を打ち出しました。

基本方針

資源循環型社会の担い手として 『スペシャリティ(明確な強み)』をもつ会社へ

高品質へのこだわりをもって技術・開発力を更に強化し
『スペシャリティ分野(強みを有する分野)』のリーダーを目指す。

スローガン

ASAHI 2018 プロジェクト

- Ambition** … 大いなる志をもって
- Speciality** … スペシャリティ分野のリーダーになるべく
- Action** … 直ちに行動を起こします。
- High quality** … 高品質へのこだわりを持って
- Innovation** … 不断の変革に挑戦します。

基本戦略

事業戦略

- 技術・開発力に裏打ちされた製品の製造、販売にリソースを集中し、「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」を強化
- 原単位低減、生産性向上等、本源的なコストダウンの追求

経営基盤強化戦略

- 監査等委員会設置会社への移行、組織改正、会議体見直し等によるガバナンス体制の刷新
- 執行役員制度の導入、人事制度の改定等による「人財」基盤の充実

財務戦略

- 安定収益による有利子負債圧縮

事業戦略

不断の事業ポートフォリオの見直し

砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業 ((株)上武)

基盤事業

埼玉県 No.1 砕石メーカーの地位堅持

新砒区確保によるシェア拡大

セグメント別売上高およびセグメント利益 (百万円)

砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
売上高	2,010	2,100	2,200	2,200
セグメント利益	89	100	150	150

農業資材事業

種子と牧草というスペシャリティを持った肥料メーカーとしての発展

肥料事業 基盤事業

粒状有機質肥料の製造・販売数量拡大

3工場一体運営による生産効率化

種苗事業 挑戦事業

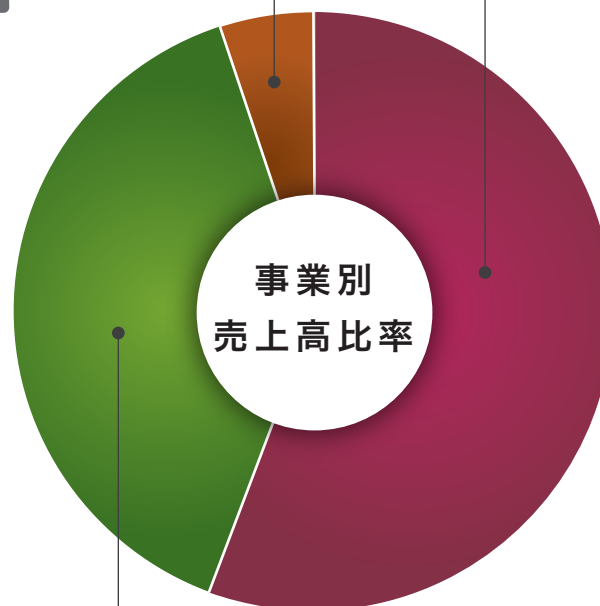
自社品種の開発と国内外への

販売拡大

乾牧草事業 収益事業

Johnson Asahi Pty.Ltd.

との一体運営



鉄鋼建設資材事業

基盤事業

関東地区小棒生産販売数量トップグループの地位確保・堅持

高強度・太径・ねじ節鉄筋へのシフト

電力原単位の低減

製品ポートフォリオの見直しによる生産性向上

セグメント別売上高およびセグメント利益 (百万円)

鉄鋼建設資材事業	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
売上高	19,853	17,200	20,000	20,000
セグメント利益	1,942	1,600	1,800	1,800

セグメント別売上高およびセグメント利益 (百万円)

農業資材事業	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
売上高	13,821	13,500	13,700	14,600
セグメント利益	737	900	900	1,100

※ 2016年度以降の計画数字には、豪州朝日の利益を含む

経営基盤強化戦略

① 監査等委員会設置会社への移行

② 事業部制を廃止し、生産・営業の統括部を設置

→工場一体運営による生産効率化、
全営業部一体化による相乗効果

③ 人財マネジメント

→新人事制度導入、執行役員制度導入

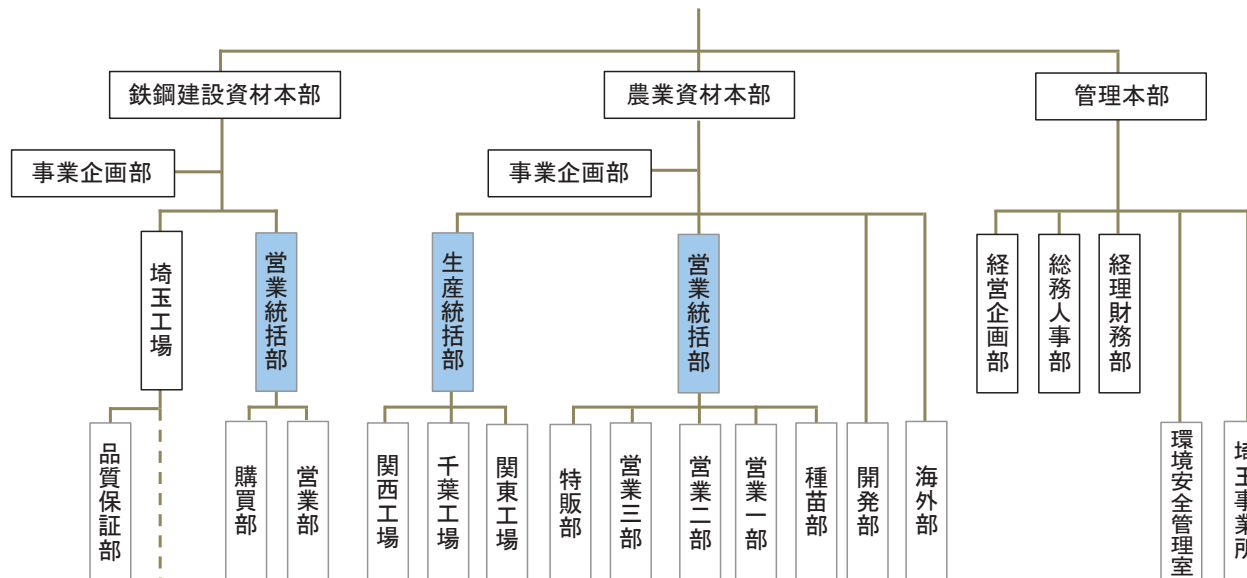
④ 管理業務の過半を朝日ビジネスサポート(株)に移管

→管理本部は「企画・政策的業務」に特化



朝日ビジネスサポート株式会社

【業務内容】 ・管理業務サポート
・鉄鋼、農業などの事業業務サポート他



財務戦略

安定収益による有利子
負債の圧縮を通じて、
財務基盤を再構築

(百万円)

経営指標	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
売上高	36,348	33,000	36,000	37,000
営業利益	1,915	1,500	1,900	2,100
経常利益	1,931	1,500	1,900	2,100
経常利益率(%)	5.3	4.5	5.3	5.7
ROE(%)	36.4	16.8	18.1	17.2
純有利子負債※	7,300	8,200	8,700	8,000

※ 純有利子負債=有利子負債-現預金

2015年度実績

連結実績

(百万円)

	2014年度	2015年度
売上高	35,494	36,348
営業利益	409	1,915
経常利益	348	1,931
当期純利益	549	2,503
総資産	27,938	25,828
純資産	6,028	7,716
経常利益率 (%)	1.0	5.3
ROE (%)	9.8	36.4
純有利子負債 ^{※1}	11,000	7,300
配当 (円)	0	40

※1 純有利子負債=有利子負債-現預金

業績総括

鉄鋼建設資材事業の業績が回復したことから、前年度を大きく上回る利益計上
継続企業の前提に関する注記の記載解消

税効果会計に係る会計基準における会社区分の変更等による法人税等調整額 (△527 百万円)
計上、保有有価証券の売却等

累積損失一掃

有利子負債大幅削減

3期ぶりの復配

セグメント別業績

鉄鋼建設資材事業

・鉄スクラップ(主要原料)価格の下落によりメタルスプレッド^{※2}が拡大し、大幅な増益

※2 鉄スクラップ価格と製品販売価格の価格差

砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

・生コンクリート向け自社製品の販売減少により減益

農業資材事業

・肥料事業は販売数量増加により増収となるも、原料コスト増加により減益

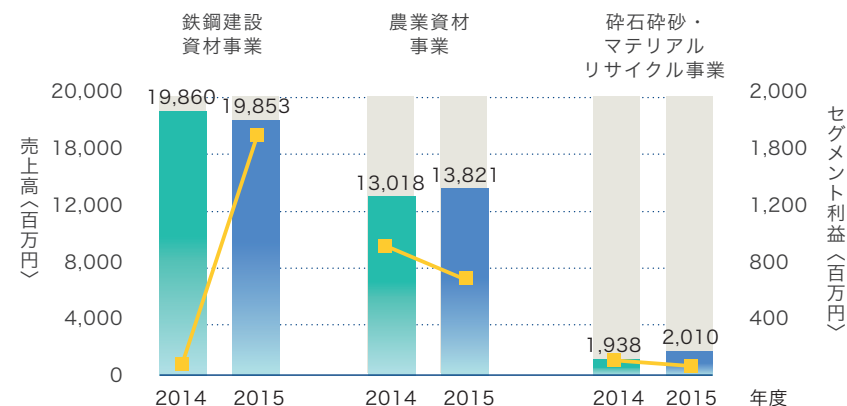
・Johnson Asahi Pty. Ltd. (乾牧草事業) は史上最高益を更新

環境ソリューション事業^{※3}

・ほぼ前期並の収支

※3 2016年5月、㈱環境科学コーポレーションの発行済株式の全てを譲渡

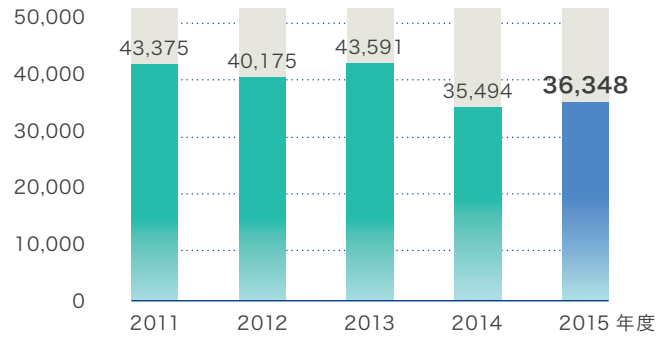
売上高 セグメント利益



財務ハイライト (連結)

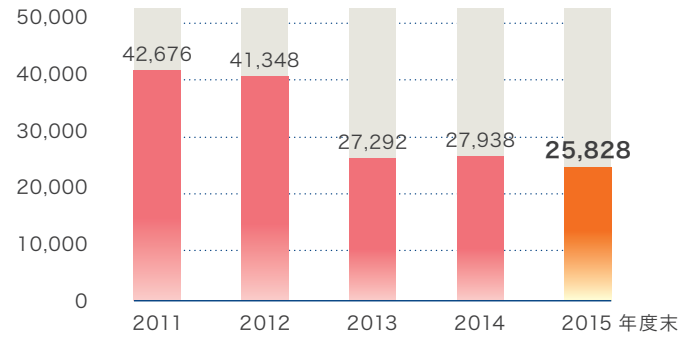
売上高

百万円



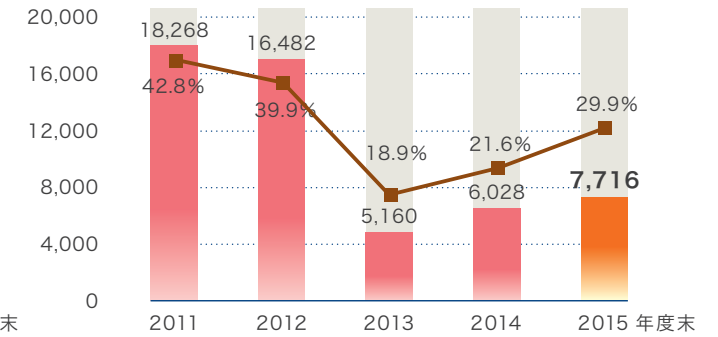
総資産

百万円



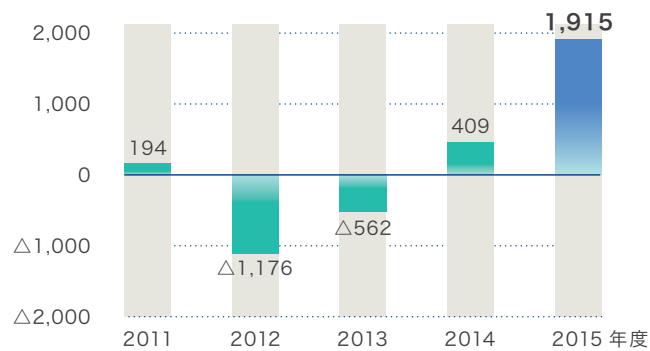
純資産

百万円



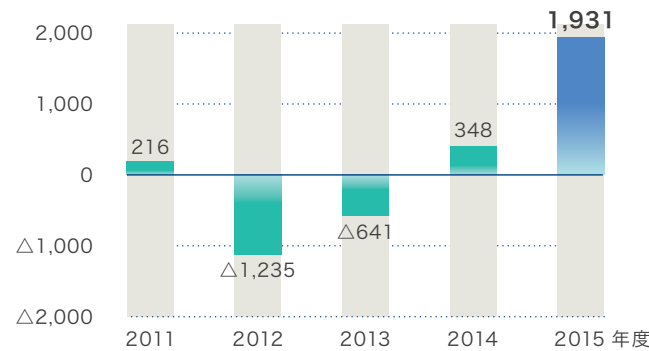
営業利益

百万円



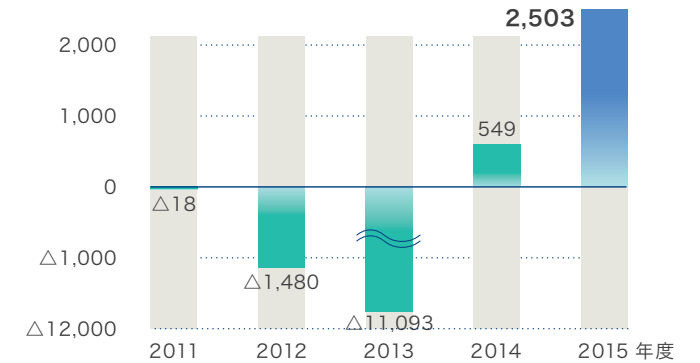
経常利益

百万円



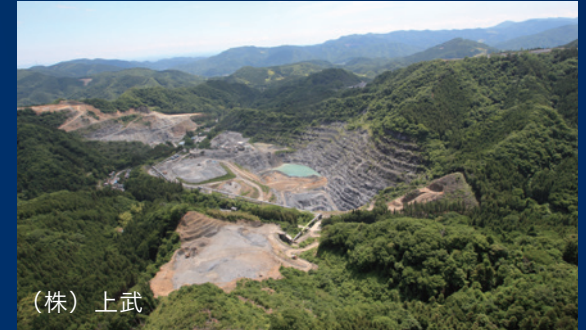
当期純利益

百万円



OUR BUSINESS

事業概要







鉄鋼建設資材事業

「鉄」に豊かな未来を託して 資源循環型社会を目指す

鉄スクラップを再生することで、鉄筋などの鉄鋼製品を製造しています。

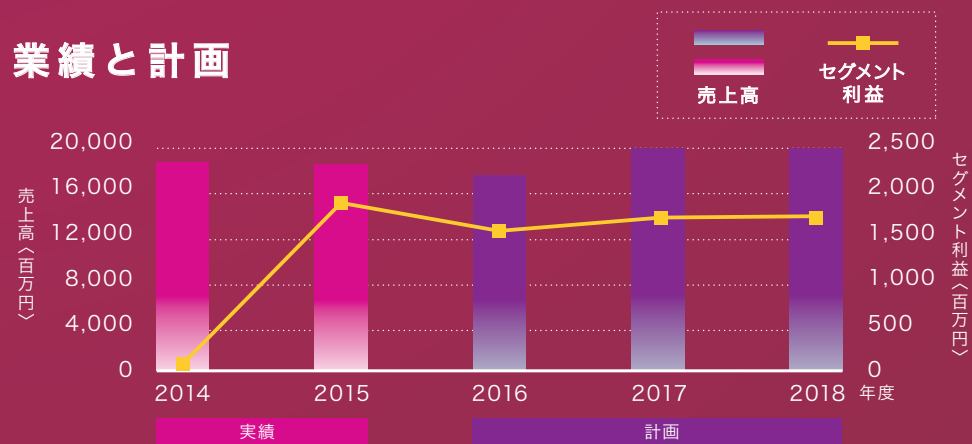
自社工場で生産される高品質な鉄鋼製品は、生活基盤となる大規模インフラ整備にも、つぎつぎと使用されています。

高強度鉄筋製造において、
自社での一貫製造をおこなう
数少ない電炉メーカー

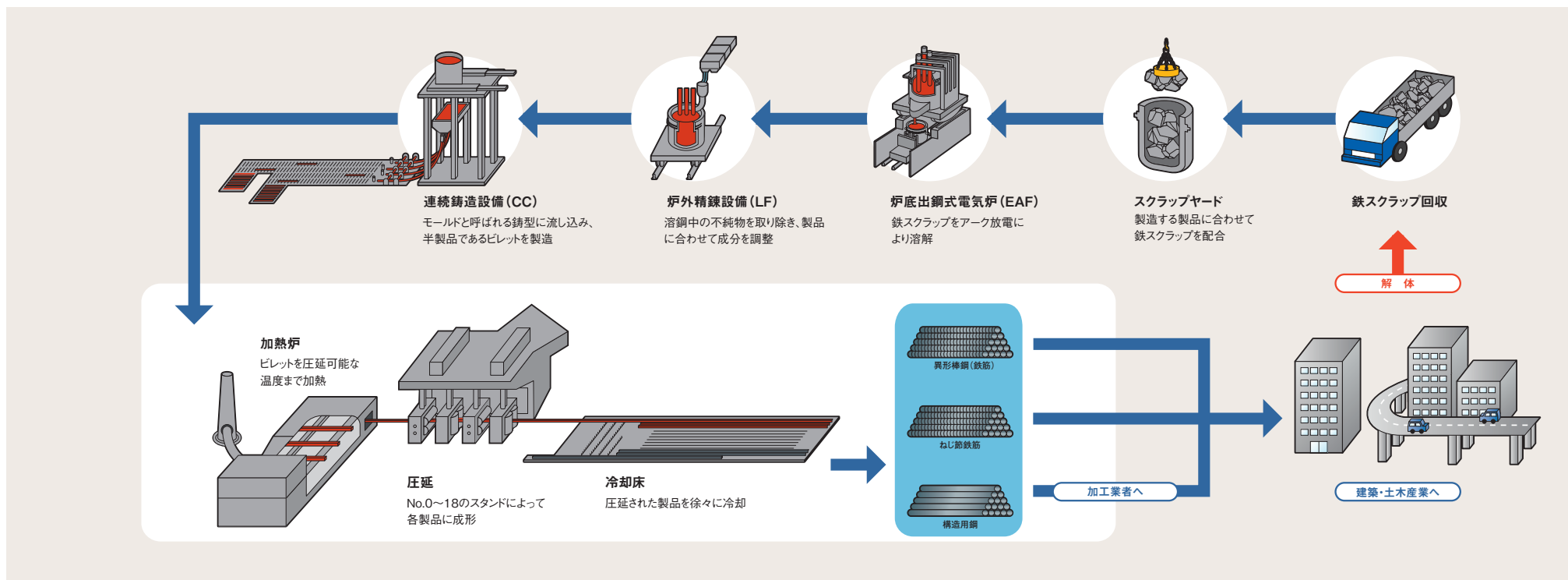
ねじ鉄筋を利用した機械
式継手や機械式定着により、
工法の多様化に対応

マイクロレベルの品質管理
技術による万全な品質保証
とスピーディーな対応

業績と計画



製造工程



品質管理

高精度の電子顕微鏡によるマイクロレベルの品質管理方法により、品質の保証体制を万全なものとしています。また、ユーザーへのスピーディーな対応と、情報のフィードバックの実施により、ユーザーからの信頼を得ています。

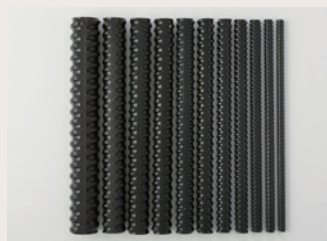


製品

ねじ節鉄筋「ネジエーコン」

ねじ節鉄筋は、ネジ状の節をしている鉄筋で、機械式継手により鉄筋同士を接合するため、工期短縮や天候に左右されにくいというメリットを持っています。また簡単な施工指導を受けることで誰でも施工が可能となる事から、ニーズは高まっています。

ネジエーコンはUSD590A、USD590B、USD685A、USD685B、USD980の大臣認定を取得しています。



朝日工業の機械式継手工法とはカブラーと呼ばれる鋳物でねじ節鉄筋をつなぐ工法です。当社では、様々な用途に応じた6種類のカブラーを取り揃えています。



スクリーブプレート工法とは、当社が日本建築センター評定を取得した機械式定着工法です。鉄筋の折り曲げ定着の代わりとして取り付けることで、鉄筋の定着性能を保持します。



異形棒鋼（鉄筋）

異形棒鋼は、マンションやオフィスビルなどの建設工事や高速道路、新幹線の橋脚部分に数多く使用されています。当社は、細いサイズから太いサイズまで製造・販売などを行っている数少ないメーカーです。東京駅や首都高速道路などでも当社の製品が使用されています。



構造用鋼

構造用鋼は、二次加工用として建築・土木資材から機械部品など幅広い分野の製品に生まれ変わります。羽田空港などの滑走路の補強材、また大型ショッピングセンターの基礎部分など、みなさまの生活を支えています。





碎石砕砂・

マテリアルリサイクル事業

((株)上武)

インフラ整備に貢献し

資源循環型社会を目指した廃棄物の

リサイクルを行う

砕石砕砂事業

埼玉県皆野町に95万㎡の砵区を保有し、ここで採掘される原石を原料に、ビル、橋、道路などの建設に使用される砕石砕砂を生産販売しています。将来を見据え、新たな砵区の確保を進めています。

埼玉県
シェア No.1

豊富な品種を
安定的に供給



主要製品

- コンクリート用砕石
 - ・生コンクリート用原料
 - ・コンクリート二次製品用原料
- 砕砂
 - ・生コンクリート用原料
 - ・コンクリート二次製品用原料
 - ・アスファルト合材用原料
- 道路用砕石
 - ・アスファルト合材用原料
 - ・ガーデニング材



マテリアルリサイクル事業

建物の解体から発生するコンクリートくずを再生路盤材に、家屋の解体や樹木の伐採などから出る木くずを木くずチップにし、資源循環型の構築に貢献しています。

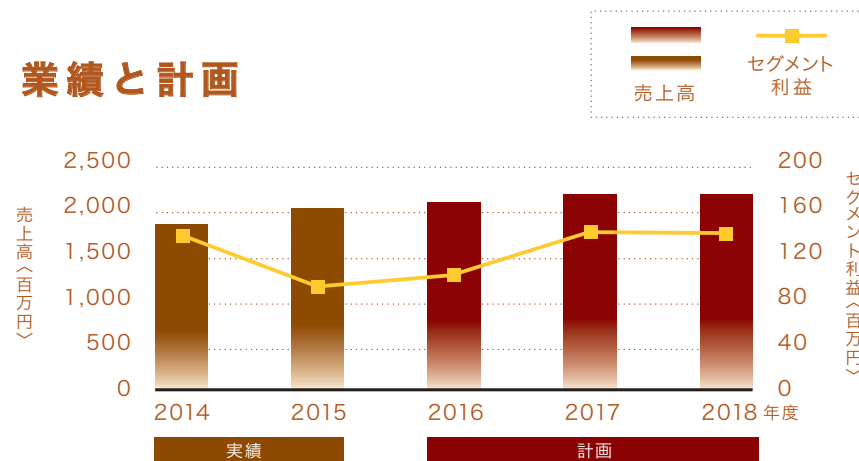
- 再生路盤材
 - ・土木建築材料



- 木くずチップ
 - ・パルプ用原料
 - ・燃料用原料



業績と計画







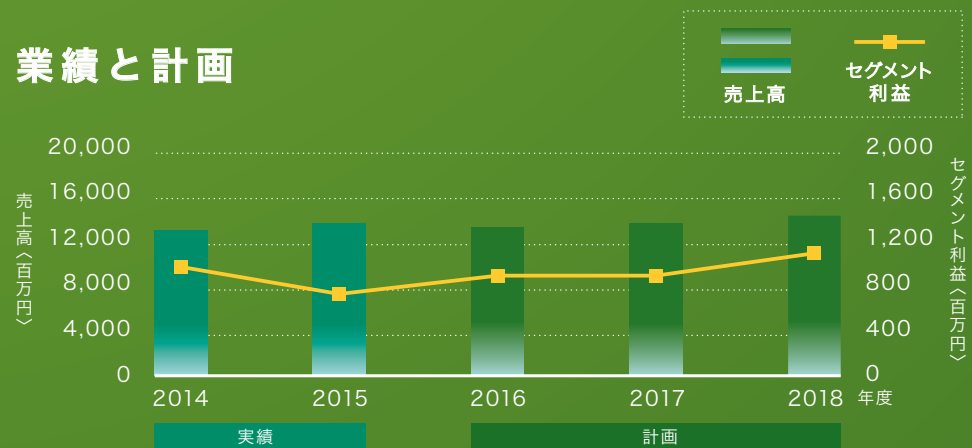
農業資材事業

種子と牧草というスペシャリティを持った 肥料メーカー

朝日工業は、粒状有機質肥料を中心とする肥料の製造・販売に加え、
種苗事業と乾牧草事業を行う日本で唯一の企業です。各事業の位置づけを明確にし、
種子と牧草というスペシャリティをもった肥料メーカーとして発展していきます。



業績と計画



※2016年度以降の計画数字には、豪州朝日の利益を含む

肥料事業

食の安心・安全意識、差別化農産物へのニーズを背景に、有機質肥料の需要は堅調です。朝日工業は有機原料開発力と造粒技術を生かし、効率よくお使いいただける高性能な粒状有機質肥料を製造しています。粒状有機質肥料メーカーとしての技術と経験は、中国の合弁会社でも生かされています。

有機肥料原料開発力
造粒技術

農家、園芸愛好家の
どちらのニーズにも
対応する豊富な
ラインナップ

家畜糞などの未利用
資源を活用した資源
循環型農業を推進

萊陽龍大朝日農業科技有限公司

- ・2011年、豊田通商および龍大食品集団と合弁で設立
- ・中国最大の農業生産地である山東省で、排ガス洗浄設備や工業排水のリサイクルなど環境に配慮した設備で、朝日工業の技術指導のもと良質な粒状有機質肥料を製造
- ・販売網を山東省以外の地域にも拡大



環境に配慮した製造

朝日工業は環境に配慮し、高品質な粒状有機質肥料を製造しています。

臭気

- ・電気集塵設備、排ガス洗浄設備、土壌脱臭設備、蓄熱脱臭設備
- ・工場建屋の密閉化

排水

- ・クローズドシステムにより、工場排水は工場内で循環
(千葉工場・関西工場)

排ガス

- ・排ガス洗浄設備、電気集塵設備



土壌脱臭設備



蓄熱脱臭設備

農家向け肥料



有機肥料原料開発と製造技術

朝日工業の肥料は一般の有機原料に加え、自社開発の有機原料を使用し、機械施肥にも対応できる硬度・円球性にすぐれた粒状です。

- ・ 自社で開発した主な有機原料は、大手豚骨ラーメンチェーンの豚骨ダシガラの骨粉、食品会社の排水からの菌体、家畜糞を活用した堆肥などです。
- ・ 自社開発原料使用比率を高めることで、品質面でも価格面でも製品（肥料）の優位性が向上します。



豚骨ダシガラ



豚ふん

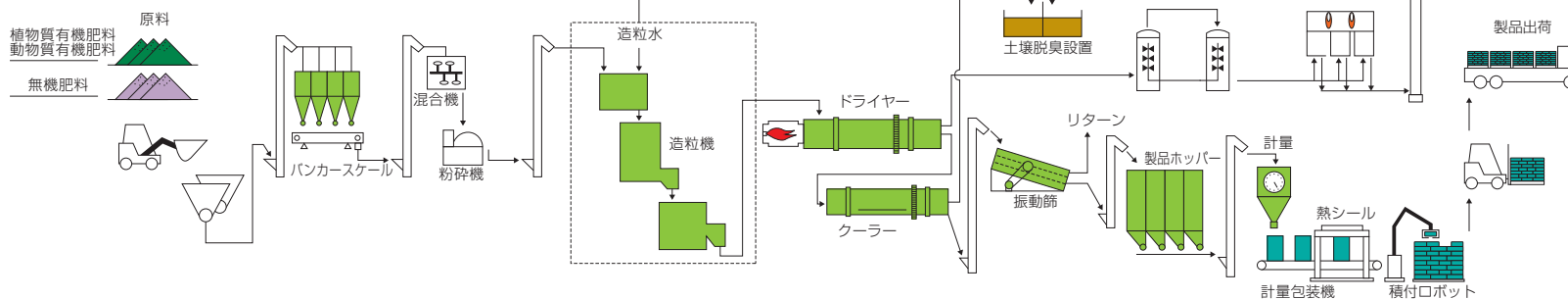


ニワトリの羽



オール有機666

粒状有機質肥料製造工程



家庭園芸向け肥料



Vege*Garden
ベジ ガーデン

当社 WEB サイト ベジガーデンでも購入できます。

種苗事業

耐病性、高収量、栽培のしやすさに焦点を当て、自社開発やオランダの大手種苗会社との共同開発を通じ、おいしさにもこだわった野菜品種開発を進めています。また、国内外からもユニークな野菜品種を導入し、バラエティに富んだ種子を販売しています。

肥料営業と連携し、
施肥指導、病害診断
など一貫した栽培指導

オランダの種苗会社
との共同開発
中国の種苗会社
との販売連携



神川農場



カボチャの立木栽培



トマトの栽培



製品

朝日のカボチャ



粉質系でホクホク
甘味・収量性の高い品種
(2015年販売開始)

朝日のトマト



黄化葉巻病など 8 大病
害に強く、おいしさにも
こだわった品種
(2016年販売開始)

朝日のキュウリ



褐斑病に非常に強く、
栽培しやすく、収量性
も高い品種
(2015年販売開始)

朝日の台木



土壌病害に強いトマト、
メロン台木など
(2016年中国の種苗会
社と販売提携)

■ フィールドデイ

春と秋の年 2 回、神川農場で
フィールドデイを開催してい
ます。生産農家、JA グループ、
流通関係者などに当社の品種を
紹介し、販売促進につなげてい
ます。2015 年度は 1,600 人に
ご来場いただきました。



乾牧草事業

朝日工業はオーストラリアに合弁会社を持ち、徹底した品質管理の下で生産された乾牧草を、日本の酪農家と肉牛農家に安定的に供給しています。昨年より販売を開始した TMF（発酵混合粗飼料）を戦略商品として、新たな市場の開拓を進めています。

中国を始めとする
アジアでの
乾牧草需要拡大

合弁パートナーの
ジョンソン社は
オーストラリアトップクラスの
乾牧草メーカー

製品

オーツヘイ

当社主力製品で、糖度が高いため、嗜好性が高いことが特徴



TMF（発酵混合粗飼料）

牧草とジュースの絞り粕を混合し発酵させた牛用飼料、低価格で嗜好性も良好



Johnson Asahi Pty.Ltd.

- ・ 1995 年、オーストラリアの牧草会社 J.T.Johnson & Sons Pty. Ltd. と合弁で設立
- ・ ビクトリア州に工場を持ち、乾牧草の生産・販売を行い、日本、中国、韓国、台湾に販売
- ・ アジアにおける牛乳・牛肉の消費拡大により、今後、更なる事業拡大を計画



ENVIRONMENT SOCIAL GOVERNANCE

環境・ガバナンス・社会貢献活動

環境マネジメント

朝日工業グループは、「地球環境や地域社会への貢献」を何より大切に、「みなさまから愛され続ける企業」でありたいという思いのもと、活動しています。

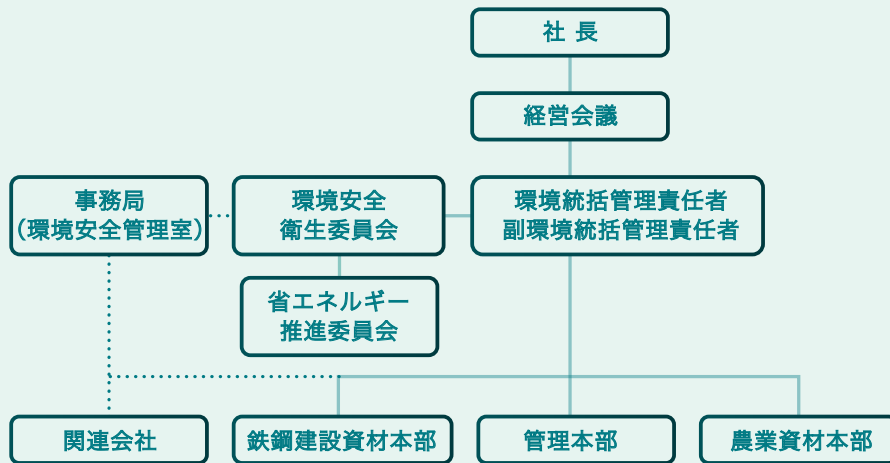
朝日工業グループ環境指針

環境負荷低減、地球温暖化防止、ゼロエミッションを通じて、環境へ貢献します。

環境マネジメント体制

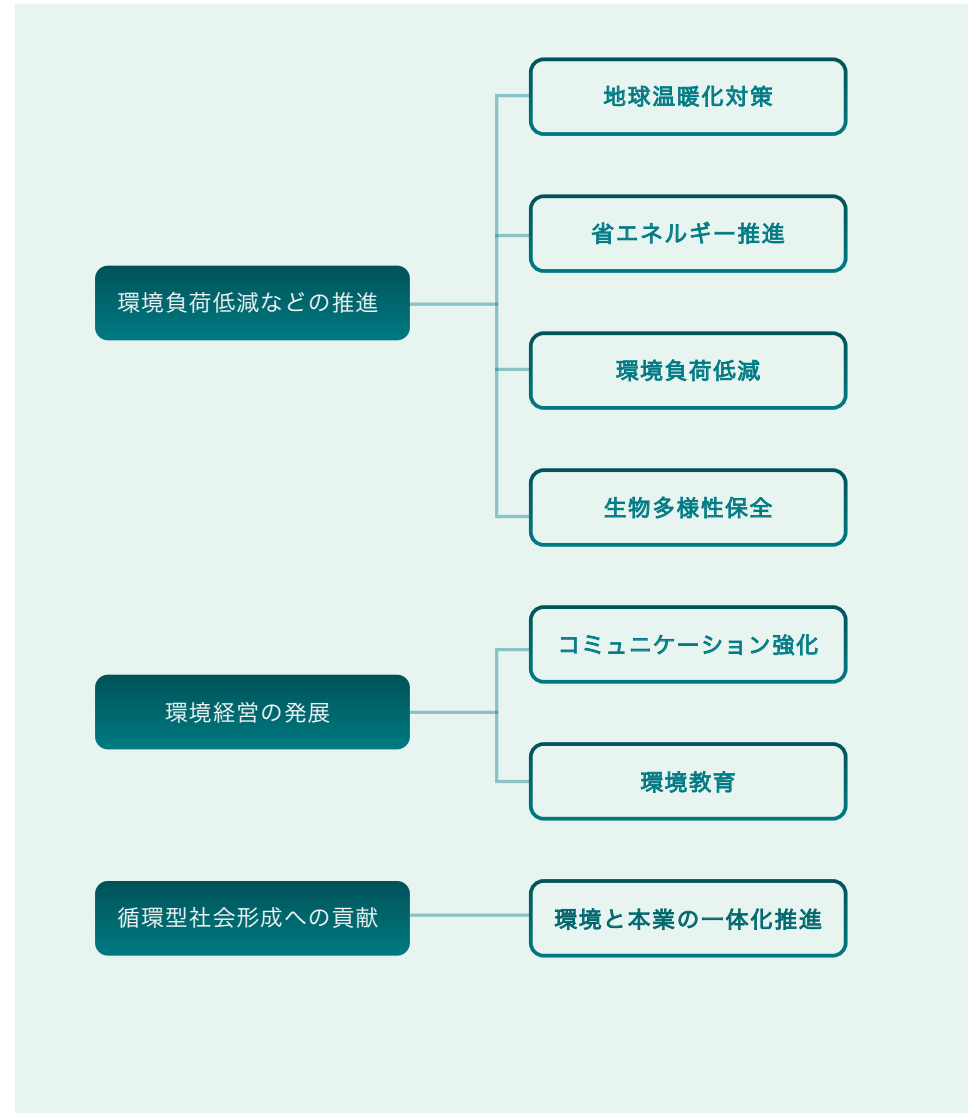
朝日工業グループ一体となった環境マネジメント体制を構築し、継続的な環境活動を強力に推進します。

環境マネジメント体制図



第4期中期環境行動計画

朝日工業グループでは 2015 年度から「第4期中期環境行動計画」を策定し、この計画に基づき活動を行っています。



第4期中期環境行動計画 2015年度実績

環境負担低減などの推進

地球温暖化対策

- ・2009年度より主要設備の燃料を天然ガスに転換し、CO₂削減への積極的な取り組み
- ・鉄鋼部門で製鋼工程から圧延工程へつなげる際、ピレットの高温状態を維持した連続生産を行なうことにより燃料を削減
- ・電気炉の適正な管理による電力の削減
- ・事務所での節電活動、営業部門のハイブリッド車への入替等により、CO₂排出量削減目標を達成
- ・埼玉事業所では、埼玉県の排出量取引制度に基づき、削減したCO₂の販売（排出量取引）を初めて実施

目標	実績	評価
●CO ₂ 排出量 1990年度比25%削減 2005年度比5%削減	・1990年度比45%削減 ・2005年度比19%削減	◎

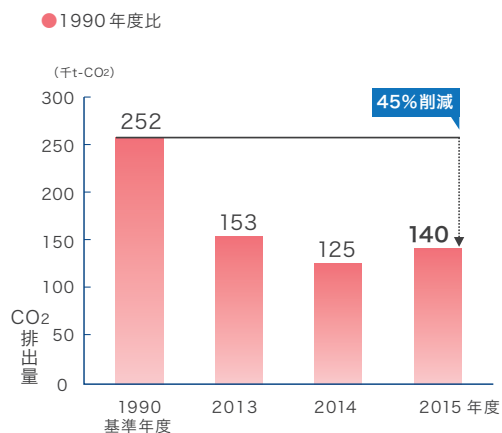
評価 ◎: 100%達成 ○: 70%達成 △: 70%未満の達成、改善が必要

省エネルギー推進

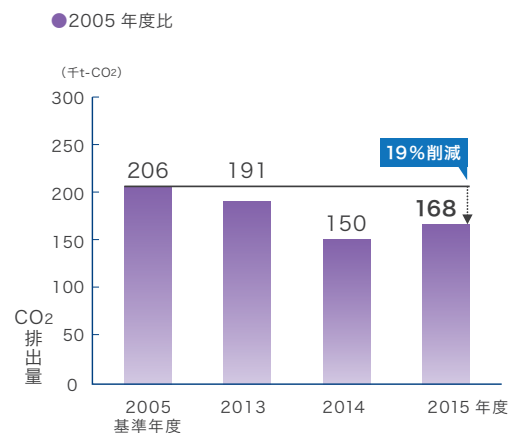
- ・鉄鋼部門・肥料部門で省エネルギー活動を継続
- ・肥料部門での小ロット生産が影響し、エネルギー原単位5カ年度平均1%削減について未達成
- ・再生可能エネルギーや新電力については導入メリットを確認し、新電力によるメリット創出が得られる厚生施設の一部で導入

目標	実績	評価
●エネルギー原単位の5カ年度平均1%削減	・2011年度～2015年度平均 0.5%増	△
●再生可能エネルギー、利用可能なエネルギーの検討	・会議体で検討実施、新電力導入	◎

CO₂排出量の推移

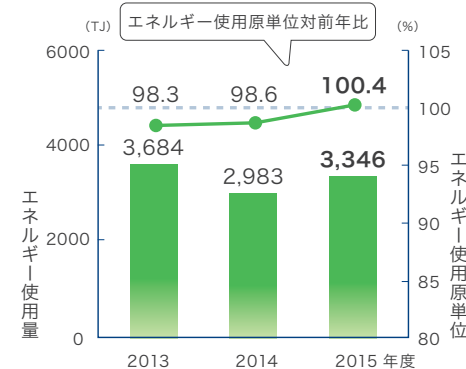


※ 1990年度電力係数を用いて各年度実績を算出



※ 各年度電力係数を用いて実績を算出

エネルギー使用量の推移



埼玉事業所 緑のカーテン

環境負荷低減

環境保全・生物多様性保全の観点から、工場から排出される排ガス・排水については法令よりも厳しい自主管理目標を設けて管理しています。

<大気汚染防止>

- ・設備の保守点検や適正な運転管理を行い、2015年度も目標を継続達成
- ・排ガス測定その他、臭気やばい煙の監視も行い環境事故の未然防止に努力

<水質汚濁防止>

- ・2014年度は製鋼工場の再稼働により浮遊物質量が一時上昇
- ・2015年度は適正管理により、目標を達成

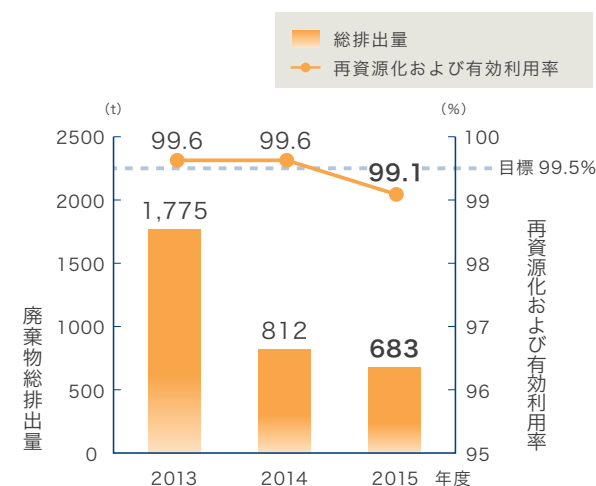
目標	実績	評価
● 排ガス 環境基準値の1/2以下	・全項目達成	◎
● 排水 環境基準値の1/10以下	・全項目達成	◎

<廃棄物ゼロエミッション>

- ・廃棄物排出量は2014年度より大幅に削減
- ・製鋼工程で発生するばいじんを社内で全量再資源化
- ・2015年度は排出量を削減できたものの、再資源化および有効利用率は99.1%となり目標未達成
- ・環境設備の定期補修によって、再資源化が困難な消耗資材の取替えが重なり、最終処分量が増加

※ 再資源化および有効利用率：基準排出量(2003年度7,223トン)に対する最終処分量の比率から算出

■ 廃棄物総排出量の推移



目標	実績	評価
● 廃棄物ゼロエミッション 再資源化および有効利用率 99.5%以上	・再資源化および有効利用率 99.1%	○

生物多様性保全

朝日工業グループの各工場は自然豊かな土地に立地しています。生物多様性保全の観点から、緑地管理ガイドラインを策定し、工場内で緑地の維持管理を行なっています。

- ・社内での5S活動や工場周辺の清掃活動はもとより、水資源(湖沼・河川)の保全を目的とした地域の清掃ボランティアに積極的に参加
- ・埼玉事業所では朝日フラワーガーデンを設置し、地域の方に四季折々の草花を楽しんでいただく場を提供
- ・減農薬栽培が可能な耐病性種子を開発

目標	実績	評価
● 事業所、工場の保全活動	・5S活動、従業員の周辺巡視実施 ・緑地ガイドラインを策定し、生物多様性保全に配慮した緑地管理を実施	◎
● 水資源、緑化保全等を目的とする諸活動参加	・ボランティア活動の継続実施 ・朝日フラワーガーデンの整備	◎
● 耐病性種子の開発導入促進	・耐病性種子である大玉トマトやキュウリを開発	◎



生物多様性保全緑地



ボランティア活動

トピックス

埼玉県 道路愛護表彰

「埼玉県道路協会会長表彰」受賞

埼玉事業所は県道に隣接しています。埼玉県のロードサポート制度へ登録し、2005年度よりこの県道の清掃・美化活動を行っています。長年の活動継続により、埼玉県道路協会会長表彰を受賞いたしました。700mにわたるこの県道が今後もきれいな状態であるよう、活動を継続します。



環境コミュニケーション強化、環境教育

- ・ 地域の方を対象に「環境コミュニケーション」を開催
環境情報開示に加え、意見交換や工場見学による、当社事業への理解を促進
- ・ 社員への環境教育を積極的に実施

目標	実績	評価
● 環境情報発信、地域交流参加	・ 毎年、地域コミュニケーションを開催 ・ 朝日神川ギャラリーの拡充	◎
● 社内環境セミナー開催	・ 業務内容に合わせた環境セミナー開催 (エコドライブ、埼玉県の環境について等)	◎
● 各種検定取得の促進	・ eco検定、社内エコ検定合せ 54名受験	◎

トピックス

環境省 環境人づくり企業大賞「奨励賞」受賞

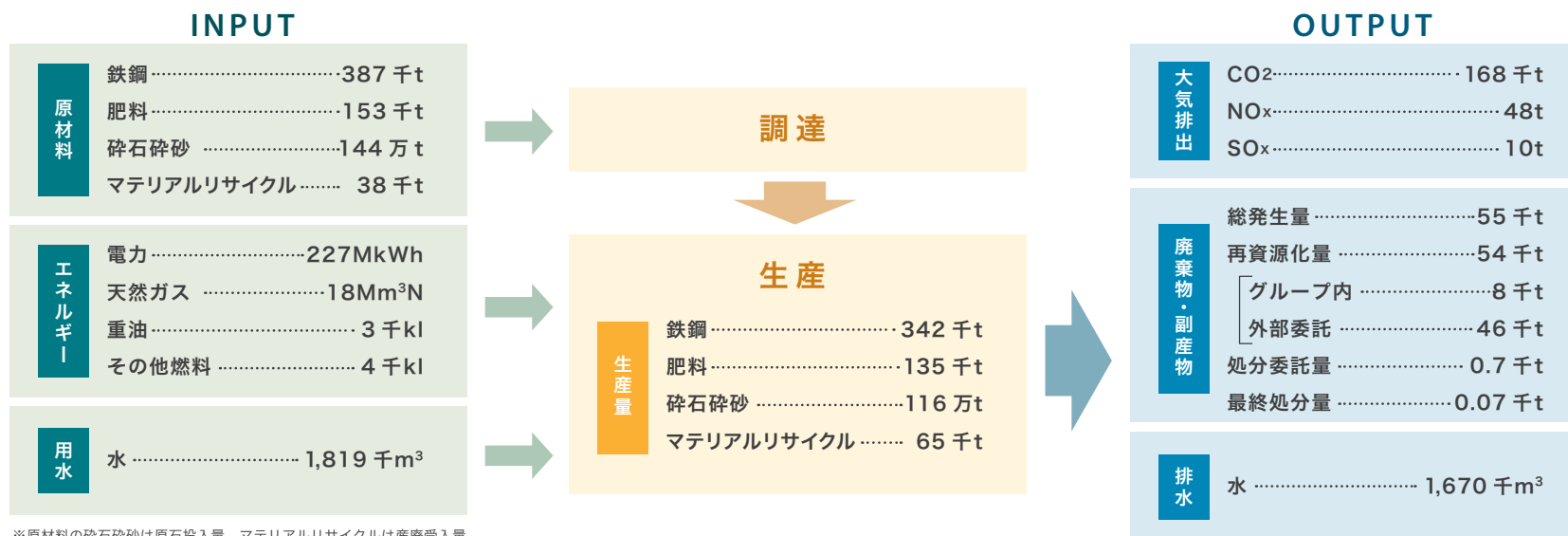
環境省が主催する環境人づくり企業大賞※へ応募し、奨励賞を受賞しました。

当社の環境への取組みや教育が環境人材の育成に貢献すると評価をいただき、受賞することができました。

※ 環境保全や社会経済のグリーン化をけん引する環境人材の育成推進を行う企業を表彰するものです。



マテリアルバランス



環境会計

環境保全コスト

(百万円)

区分	グループ合計			コスト累計 (2005~2015年度)	構成率 (%)
	2013年度	2014年度	2015年度		
1. 公害防止コスト	729	530	560	6,140	50.4
2. 地球環境保全コスト	198	84	87	959	7.9
3. 資源循環コスト	361	330	318	3,892	31.9
4. 管理活動コスト	49	38	30	430	3.5
5. 研究開発コスト	52	50	50	427	3.5
6. 社会活動コスト	21	25	24	190	1.6
7. 環境損傷対応コスト他	5	5	5	149	1.2
環境保全コスト(計)	1,415	1,062	1,074		
環境保全コスト(累計)	10,051	11,113	12,187	12,187	100.0

経済効果

(百万円)

区分	グループ合計			効果累計 (2005~2015年度)	構成率 (%)
	2013年度	2014年度	2015年度		
1. 社内リサイクル効果 [※]	403	381	540	3,785	53.7
2. 廃棄物処理効果	76	57	63	1,245	17.7
3. 製品コスト低減効果	59	51	51	690	9.8
4. 産廃受託処理効果	117	102	96	1,324	18.8
経済効果額(計)	655	591	750		
経済効果額(累計)	5,703	6,294	7,044	7,044	100.0

※社内リサイクル効果の増加は、主に鉄鋼の生産数量増に伴うリサイクル量の増加および外販単価による影響

●環境活動の報告内容について

朝日工業のホームページの「環境活動」のページにも掲載しています。

<http://www.asahi-kg.co.jp/csr/environment/>

コーポレート・ガバナンス

「誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。」という経営理念のもと高い水準の企業倫理を維持し、透明性の高い企業経営を進め、合理的判断に基づく経営を行ってまいります。

基本的な考え方

- ・ 経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制の確立
- ・ 株主様をはじめ社外に対する公平かつ迅速・適正な情報発信による経営の透明性の確保
- ・ 合理的な判断に基づく経営の効率性の追求
- ・ 法令および企業倫理を遵守するコンプライアンス経営の徹底、公正で健全な企業経営

当社は、コーポレートガバナンス・コードの基本原則を遵守しています。

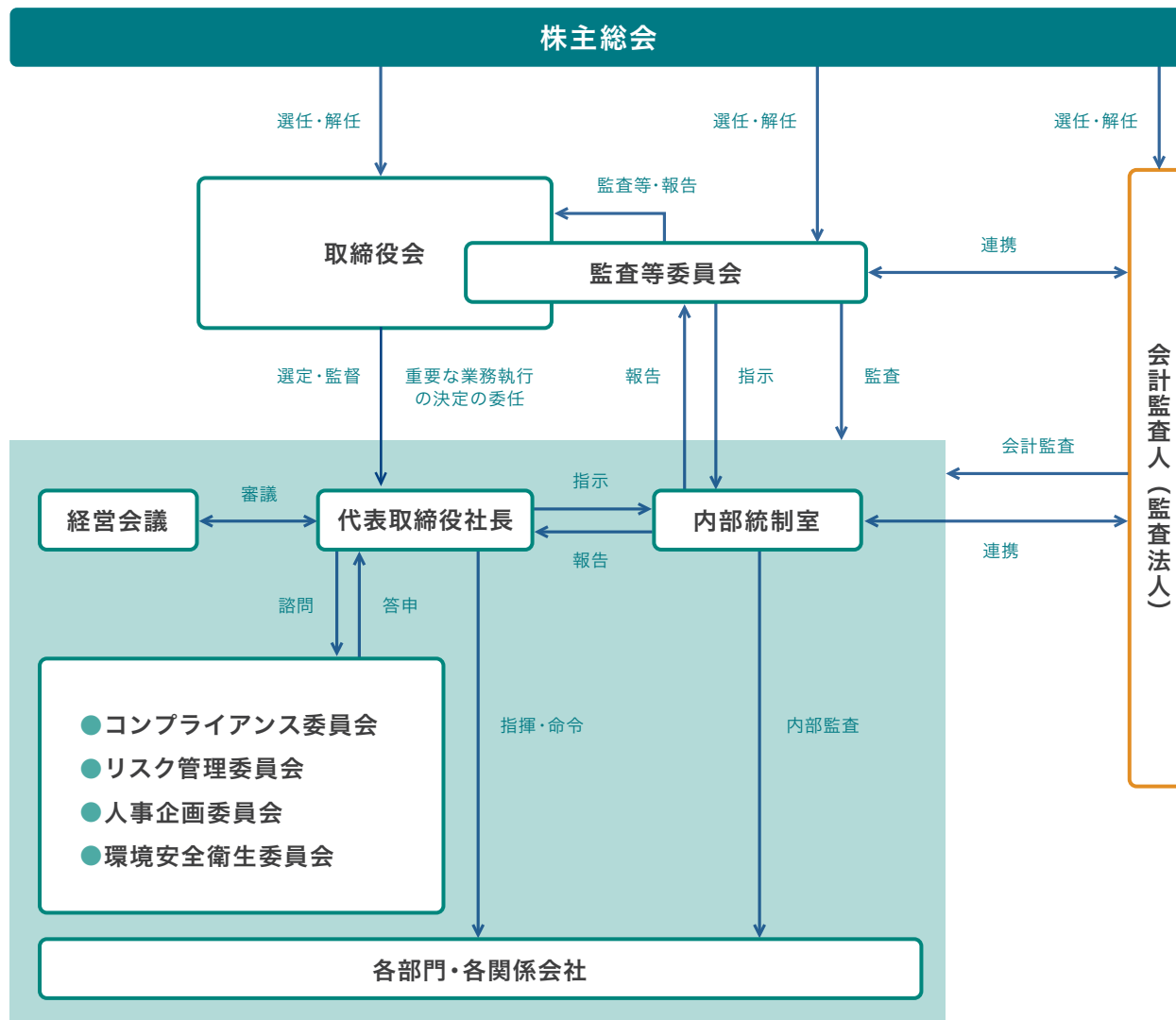
(<http://www.asahi-kg.co.jp/corporate/company/governance.html>)

監査等委員会の設置

当社は、2016年6月23日、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行しました。

- ・ 監督機能の強化・充実
- ・ 取締役会から業務執行の決定を広く取締役に委任することで意思決定の迅速化
- ・ 社外取締役3名を含む5名の取締りで構成
- ・ 監査等委員会は月1回および必要に応じて開催

コーポレート・ガバナンス体制図



コンプライアンス

朝日工業グループでは、日常的な活動を通し、コンプライアンスについての理解、浸透を図っています。

■ 職場のコンプライアンス推進活動

- ・コンプライアンス意識の理解、浸透、向上のための活動
- ・年間活動計画を策定・実施

■ 啓蒙・教育活動

- ・「こんぶらだより」(コンプライアンスに関するミニテスト付き)の発行(月1回)
- ・年度毎にテーマを設定した社内研修(2015年度は職場環境改善)

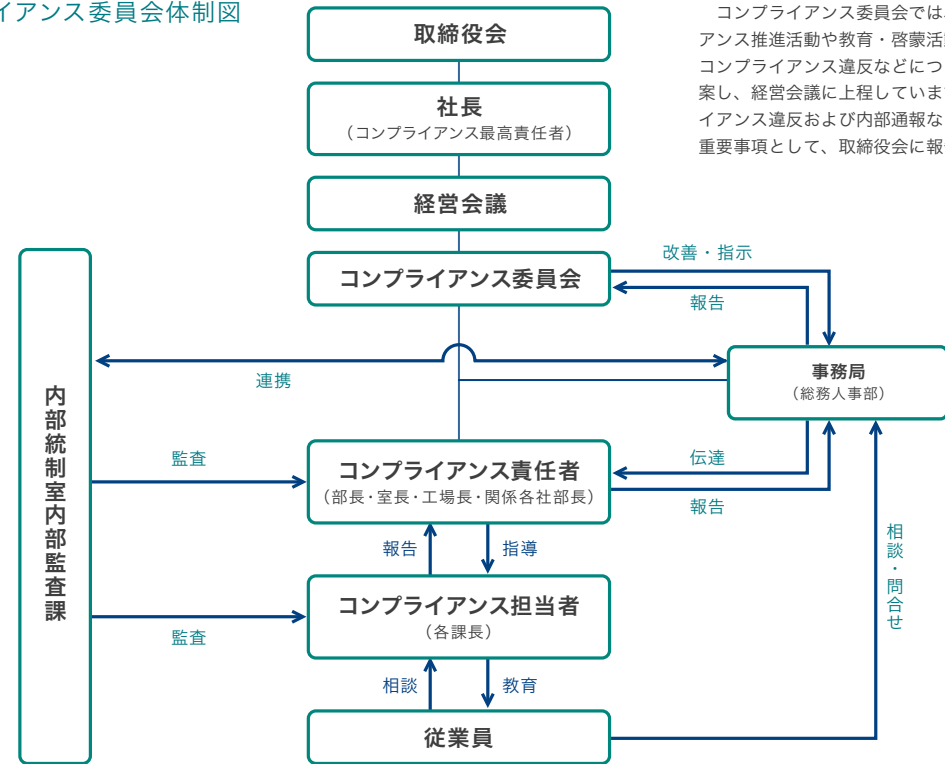
■ コンプライアンス・チェック

- ・全役職員を対象にした「コンプライアンス・チェック」の実施

■ 内部通報制度

- ・社内、労働組合、弁護士事務所に通報窓口を設置

コンプライアンス委員会体制図



コンプライアンス委員会では、コンプライアンス推進活動や教育・啓蒙活動、内部通報、コンプライアンス違反などについて審議・立案し、経営会議に上程しています。コンプライアンス違反および内部通報などについては重要事項として、取締役会に報告しています。

リスクマネジメント

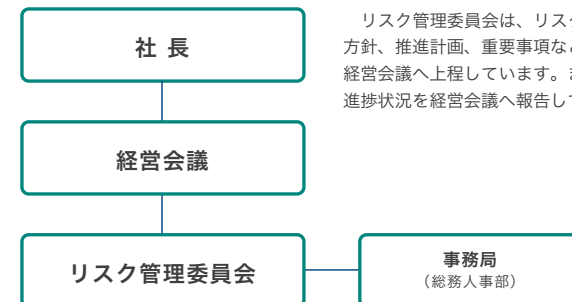
朝日工業グループでは、毎年、想定されるリスクを抽出、評価を行い、対応策を策定し、改善を進めています。

2015年度は、特にクレーム処理、大規模な災害や事故が発生した際の化学物質汚染リスクについて見直しを行い、新たな対策を実施しました。

■ 事業継続計画 (BCP)

- ・大規模地震を想定したBCPを策定
- ・安否確認システムを導入
- ・訓練を通して不断のBCP改定

リスク管理委員会体制図



リスク管理委員会は、リスク管理項目の重要方針、推進計画、重要事項などを審議・立案し、経営会議へ上程しています。また、推進計画の進捗状況を経営会議へ報告しています。

人財マネジメント

グローバル化による競争の激化や人口・労働力の減少など、企業を取り巻く環境が大きく変わり、常にイノベーションが求められるようになりました。

このような環境下で、人材育成、人材確保を重要課題として取り組みます。

執行役員制度の導入 (2016年6月23日)

当社は執行役員制度を導入しました。

業務遂行に優れた人材を執行役員に登用することで、業務執行の高度化に対応すると同時に、社員においては将来の目標が増えることにより、モチベーション向上へとつながります。

また、執行役員に業務執行権限が委譲されますので、責任の所在が明確になり、取締役の監督機能が強化されます。

人事制度の改定 (2016年10月予定)

人事制度を改定し、人材育成と働き方の多様化にフォーカスを当て、頑張った成果を上げた社員の処遇の充実や、ダイバーシティの推進に取り組んでいきます。

研修制度の充実

現在、当社が実施する研修には、一般の社員研修に加え、専門職研修があります。

● 一般研修

新入社員研修、5年目研修、管理職昇格時研修、幹部社員研修

● 専門職研修

DNAマーカーや病害検定など研究機関が実施する研修に参加
生産マイスター研修など新たなプログラムも計画



自己啓発

自らの意思で学び、自分自身を変革し、進歩して行こうとする社員をサポートしています。

● 通信教育

若手社員から管理職まで幅広い社員に対応するよう、通信教育コースは営業、技術、財務・会計、PC、ストレス管理、健康管理、資格取得など多岐に及んでいます。

● 語学の習得

英語と中国語の語学勉強クラスを設け、合併会社を含めた海外企業とのコミュニケーション向上などを目的に実施しています。

社員へのケア

社員のストレス程度を把握し、社員自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることを目的として、ストレスチェック制度を導入します。

トピックス

多様な働き方実践企業として認定

朝日工業は、短時間勤務やフレックスタイムなど、複数の働き方を実践している「子育てと仕事の両立のできる働きやすい会社」として、埼玉県より認定されました。



社会貢献活動

朝日工業グループは、地域貢献と子供たちを応援する活動を行っています。

地域社会への貢献では水辺や公園、道路の定期清掃ボランティア、公園の整備、納涼祭開催などの活動を通じ、地域のみなさまの自然環境の改善や生活環境の向上に積極的に取り組んでいます。教育支援では子供たちが豊かに育まれることを願い、野菜の栽培教室、工場見学・農場見学、絵画制作（朝日神川ギャラリー）など様々な教育プログラムを推進しています。

地域社会への貢献



朝日フラワーガーデン



清掃ボランティア



地域住民のための納涼祭を開催



清掃ボランティア

教育支援



工場見学



小学校柔道大会への協賛



地元幼稚園での種まき教室



朝日神川ギャラリー



2008年3月より毎年、埼玉事業所の外壁に地元の小中学生の絵を展示しています。2016年3月には、新たに48点の作品が加わり、これまで合計で約350点が展示されました。元気をもらえると、地域のみなさまにも好評です。

COMPANY INFORMATION

財務データ・会社情報・投資家情報

連結貸借対照表

(百万円)

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
資産の部					
流動資産	19,529	18,140	14,162	14,849	13,845
現金及び預金	2,327	2,561	2,640	1,501	2,640
受取手形及び売掛金	7,869	7,792	5,952	5,671	4,727
商品及び製品	6,999	5,477	3,221	5,830	4,754
原材料及び貯蔵品	1,766	1,908	2,060	1,527	1,397
その他	573	410	293	321	328
貸倒引当金	△7	△10	△5	△3	△1
固定資産	23,147	23,208	13,129	13,088	11,982
有形固定資産	20,253	20,112	10,652	10,620	10,116
建物及び構築物	3,958	3,785	3,139	3,344	3,134
機械装置及び運搬具	12,579	12,540	4,053	3,817	3,509
土地	2,625	2,665	2,678	2,678	2,678
その他	1,090	1,120	780	779	792
無形固定資産	771	659	196	193	182
投資その他の資産	2,122	2,436	2,280	2,274	1,683
資産合計	42,676	41,348	27,292	27,938	25,828

(百万円)

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
負債の部					
流動負債	19,423	20,279	16,848	16,638	13,348
支払手形及び買掛金	8,405	7,714	5,947	5,626	3,831
短期借入金	5,115	5,915	5,915	7,245	4,950
1年以内償還予定の社債	60	120	120	120	60
1年以内返済予定の長期借入金	1,330	1,690	1,790	1,434	1,649
未払法人税等	55	84	62	77	231
賞与引当金	337	261	146	135	271
その他	4,120	4,493	2,866	2,000	2,354
固定負債	4,984	4,586	5,284	5,271	4,762
長期借入金	2,455	2,395	3,105	3,623	3,234
退職給付に係る負債*	1,052	1,083	1,050	722	1,097
その他	1,476	1,107	1,128	925	430
負債合計	24,408	24,865	22,132	21,909	18,111
純資産の部					
株主資本	18,073	16,102	4,729	5,361	7,864
その他の包括利益累計額	195	379	430	667	△148
純資産合計	18,268	16,482	5,160	6,028	7,716
負債純資産合計	42,676	41,348	27,292	27,938	25,828

※ 2011年度末、2012年度末は退職給付引当金

連結損益計算書

(百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	43,375	40,175	43,591	35,494	36,348
売上原価	36,145	34,340	37,317	29,174	28,064
売上総利益	7,230	5,835	6,274	6,320	8,284
販売費及び一般管理費	7,035	7,011	6,836	5,911	6,369
営業利益	194	△1,176	△562	409	1,915
営業外収益	258	178	174	197	280
営業外費用	235	238	253	258	264
経常利益	216	△1,235	△641	348	1,931
特別利益	-	-	3	545	410
特別損失	145	233	9,337	263	118
税金等調整前当期純利益	71	△1,468	△9,975	630	2,223
法人税、住民税及び事業税	60	75	104	114	246
法人税等調整額	28	△64	1,013	△33	△527
当期純利益	△18	△1,480	△11,093	549	2,503
親会社株主に帰属する当期純利益	△18	△1,480	△11,093	549	2,503

連結包括利益計算書

(百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
当期純利益	△18	△1,480	△11,093	549	2,503
その他の包括利益					
- 他有価証券評価差額金	9	133	56	3	△327
- 為替換算調整勘定	△13	50	18	28	△67
- 退職給付に係る調整額				204	△420
その他の包括利益合計	△3	184	74	236	△815
包括利益	△21	△1,295	△11,018	785	1,688
親会社株主に係る包括利益	△21	△1,295	△11,018	785	1,688
非支配株主に係る包括利益	-	-	-	-	-

連結キャッシュフロー

(百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
営業活動によるキャッシュフロー	1,398	1,299	2,116	△1,164	3,852
投資活動によるキャッシュフロー	△2,829	△1,592	△2,115	△1,044	△61
財務活動によるキャッシュフロー	1,601	519	73	1,065	△2,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	7	3	4	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	169	234	78	△1,139	1,139
現金及び現金同等物の期首残高	2,158	2,327	2,561	2,640	1,501
現金及び現金同等物の期末残高	2,327	2,561	2,640	1,501	2,640

連結株主資本等変動計算書

2015年4月1日～2016年3月31日

(百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,190	1,802	1,662	△293	5,361	354	131	181	667	6,028
当期変動額										
親会社株主に帰属する当期純利益			2,503		2,503					2,503
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△327	△67	△420	△815	△815
当期変動額合計	-	-	2,503	-	2,503	△327	△67	△420	△815	1,688
当期末残高	2,190	1,802	4,166	△293	7,864	26	64	△239	△148	7,716

セグメント別業績

(百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高					
鉄鋼建設資材事業	28,550	24,961	26,242	19,860	19,853
農業資材事業	12,323	12,729	14,628	13,018	13,821
環境ソリューション事業	810	695	723	642	620
砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	1,822	1,800	1,994	1,938	2,010
その他 ^{※1}	437	374	223	151	150
調整額 ^{※2}	△568	△385	△221	△116	△108
計	43,375	40,175	43,591	35,494	36,348

(百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
セグメント利益					
鉄鋼建設資材事業	375	△1,045	△1,210	65	1,942
農業資材事業	865	881	1,532	980	737
環境ソリューション事業	71	1	19	36	36
砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	67	77	146	151	89
その他 ^{※1}	3	4	△30	△20	△6
調整額 ^{※2}	△1,189	△1,095	△1,018	△804	△884
計	194	△1,176	△562	409	1,915

※1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業
 ※2 「調整額」は、主に報告セグメント以外の部門で発生する一般管理費

会社情報

2016年6月23日現在

会社情報

商号 朝日工業株式会社
本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-5 Daiwa 東池袋ビル
TEL 03-3987-2161
URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>
創立 1935年8月16日
設立 1991年10月29日
資本金 2,190百万円
従業員数 412名(グループ 465名)

役員紹介

代表取締役社長	村上 政徳	
常務取締役	中村 紀之	矢口 誠
	広瀬 清	
取締役	稲場 進	草間 勝
取締役監査等委員	田島 一郎	佐藤 光
取締役監査等委員(社外)	新垣 良爾	田島 伸一
	花枝 英樹	
執行役員	坂本 利雄	田中 悟
	山田 吉朗	関根 傑

事業所

埼玉事業所(鉄鋼建設資材事業、農業資材事業)

〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬 222
TEL (0274) 52-2711

大阪事業所(農業資材事業)

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 1-2-5 大阪 JA ビル
TEL (06) 6311-6215

【鉄鋼工場】 埼玉工場 〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬 222
TEL (0274) 52-2713

【肥料工場】 関東工場 〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬 222
TEL (0274) 52-2712

千葉工場 〒289-0506 千葉県旭市さくら台 1-13
TEL (0479) 68-1600

関西工場 〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口 6776
TEL (0748) 62-8171

【農場】 神川農場 埼玉県児玉郡神川町大字新里字東北原 863-2

関係会社

株式会社上武(碎石砕砂の製造販売、マテリアルリサイクル)

〒369-1601 埼玉県秩父郡皆野町金沢 3085-1
TEL (0494) 62-1321 代表取締役社長 寺井 淳

朝日ビジネスサポート株式会社(業務請負・人材派遣)

〒367-0301 埼玉県児玉郡神川町渡瀬 222
TEL (0274) 52-6411 代表取締役社長 佐藤 真

投資家情報

2016年3月31日現在

株式の状況 2016年3月31日現在

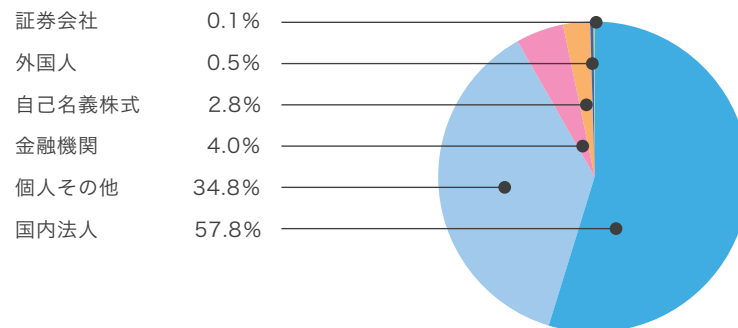
上場市場 東京証券取引所ジャスダック
 証券コード 5456
 株式 発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式総数(自己株式を含む) 7,200,000株
 株主総数 6,872名

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
阪和興業株式会社	600,000	8.6
三井物産株式会社	600,000	8.6
アサガミ株式会社	522,000	7.5
片倉コープアグリ株式会社	300,000	4.3
農林中央金庫	210,000	3.0
東京鐵鋼株式会社	200,000	2.9
日本マタイ株式会社	181,000	2.6
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	180,000	2.6
カネヒラ鉄鋼株式会社	180,000	2.6
株式会社クレディセゾン	134,700	1.9

※ 持株比率については、自己株式(200,000株)を控除して計算しています。
 また、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

■株式分布



配当金について

当社の配当方針は、連結業績および当社の資金需要、財政状態を総合的に勘案したうえ、安定した利益還元を継続を基本として、株主のみなさまへの利益還元を図りたいと考えております。

株主優待制度のご案内

当社では、通常の株主優待に加え、長期保有株主優待を行っております。

持株数	優待内容	
	通常株主優待	長期保有株主優待 (1年以上保有の株主様) [※]
100株以上200株未満	お米券(4枚)	クオカード(500円分)
200株以上300株未満	お米券(8枚)	クオカード(1,000円分)
300株以上500株未満	お米券(12枚)	クオカード(1,500円分)
500株以上	お米券(16枚)	クオカード(2,000円分)

※ 株主番号が変更になった場合は継続保有となりません。(以下の場合など)
 ①取り扱い証券会社の変更 ②全所有株式売却後の買い戻し
 ③証券会社の貸株サービスの利用 ④相続などによる株式名義人の変更

トピックス

施設見学会

2016年度より、株主のみなさまに当社事業への理解を一層深めていただくことを目的に、当社の施設見学会を実施することとなりました。1回目として、2016年5月、当社種苗開発の研究農場であり、また肥料試験を行う試験農場でもある神川農場の見学会を開催しました。施設見学会は、当社からの情報発信の場であると同時に、株主のみなさまの率直なご意見を伺う機会と捉え、今後定期的にも実施する予定です。





朝日工業株式会社



編集方針

当レポートは、朝日工業グループ（朝日工業および関係会社）の事業活動、財務情報、2015年度における環境活動や社会貢献活動を、みなさまにわかりやすく報告することを目的として編集しております。

対象組織

朝日工業株式会社
株式会社上武
朝日ビジネスサポート株式会社
Johnson Asahi Pty. Ltd.
萊陽龍大朝日農業科技有限公司

対象期間

2015年4月1日～2016年3月31日
（※一部、上記期間以外の内容も含まれます。）
発行年月 2016年7月
前回発行 2015年7月
次回発行予定 2017年7月

参考ガイドライン

・GRI (Global Reporting Initiative) の
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン 第4版(G4)」
・環境省の「環境報告書ガイドライン」(2012年度版)

ホームページでの開示

<http://www.asahi-kg.co.jp/csr/>

お問い合わせ先

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 3-23-5 Daiwa 東池袋ビル
朝日工業株式会社 管理本部 経営企画部 広報課
TEL : 03-3987-0283 メールアドレス : ir@asahi-kg.co.jp